こどもの城ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2001・2・15 NO.113
発行／〔こどもの城〕広報部☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

21世紀の元気 平早勉の世界

近所の子と、いつもなかよくいっしょに遊ぶのは、フィリピンのマニラの下町でよく見かける光景だ。空き地のバスケットコートでは、身長差50cmもある中・高生に交ざって、10歳前後の男の子も果敢に挑戦している。

商店街の裏路地で、学校帰りの女の子たちがなわとびを始めた。そばで遊んでいた小さな子も"ちょっととばして！"と歓声の仲間入り。小銭で買ったスナック菓子もみんなで分け合って、楽しいひとときである。

〔こどもの城〕の音楽講座・クラブ

いろいろな国の音楽を楽しむ

〔こどもの城〕には、体育・音楽・造形などの講座・クラブがあります。そのなかには、全国でもめずらしい子ども向けの『ガムラン講座』（インドネシアの民族音楽）をはじめ、ブラジルのサンバの演奏を楽しむ『レッツ・プレイ・サンバ』、そして日本の伝統音楽『三味線』『和太鼓グループ』の講座があります。

音楽というとヨーロッパを中心に発展してきた"クラシック音楽"や、アメリカを中心に発展してきた"ポピュラー音楽"を思いうかべます。しかし、世界の各地には、私たちが知っている音楽とは別の音楽がたくさんあります。"民族音楽"と言われているもので、私たち人間が最初に音楽にふれたときの素ぼくな喜びや楽しさ、その土地に伝わる生活や文化などを強く感じさせてくれます。〔こどもの城〕の音楽講座で、いろいろな"音楽"にふれることができます。

ガムラン講座　すぐに演奏できて、合奏の楽しさを体験

ガムランはインドネシアの民族音楽。てっきんのような形の〈サロン〉、おわんをふせたような〈ボナン〉など、青銅製の打楽器を中心にしたアンサンブル（合奏）です。たたいて音を出す楽器がほとんどなので、初めての人もすぐ演奏に加わることができ、合奏の楽しさやおもしろさが体験できます。

ガムランの楽器の音色を耳をすませて聞いてみると、同じように聞こえる一つひとつの音のなかに、あたたかさや豊かさ、広がりなどいろいろな表情を聞くことができます。

インドネシアのなかでも、ジャワ島のガムランは楽器の種類も多く、ゆったりとしたひびきが特色です。それぞれの楽器が打ち鳴らすシンプルなリズムとメロディーが重なり合うと、大自然や宇宙のようなひろがりをもった"音の世界"が体全体をつつみこみます。

まわりの人の音に耳をかたむけ、体で音とリズムを感じ、みんなで一つの音楽を作り上げます。初めての人も経験者も、いっしょになって音楽を作る喜びが体験できます。

レッツ・プレイ・サンバ　いろいろな打楽器で"情熱のリズム"

サンバはブラジル生まれ。みんなに愛されている音楽。明るく元気のよい"情熱のリズム"はリオ（リオデジャネイロ＝ブラジル）のカーニバルで世界的に有名。

おなかにひびく低い音の大太鼓〈スルド〉、かわいた高い音の小太鼓〈ヘピーキ〉、タンブリンの仲間の〈パンデイロ〉や〈タンボリン〉、バネのようなものをこする〈ヘコヘコ〉、2つのカウベルをU字形につないだ〈アゴゴ〉、マラカスの仲間〈ガンザ〉、太鼓の皮に竹ひごを結びつけ、それをぬれた布でこすって音をだす〈クイーカ〉――いろいろな楽器が登場します。

たくさんの人が大音量で演奏するので、みんなに音が聞こえる〈ヘピーキ〉がリーダー役。決められたリズムパターンを合図に、演奏を始めたり終わりにしたり。また、同じ楽器でも演奏のしかた（たたく場所、たたき方など）で異なる音色をだせるので、リズムと音色を組み合わせていろいろな演奏（表現）ができ、それぞれの楽器のソロ演奏も聞きごたえがあります。

和太鼓グループ　テケドン――全身を使って元気いっぱい

テケドン、テケドン。ドドツク、ドドツク――という指導者のかけ声に合わせて太鼓をたたきます。和太鼓の講座では、音楽の教科書にのっている楽譜のかわりに、"くち"でリズムやたたき方を伝えます。代々受けつがれてきた方法です。たたく場所（皮の真ん中か、ふちの木の部分かなど）とたたき方、リズムなどのすべてが、この"くち"で伝えられる言葉で分かるようになっています。

〔こどもの城〕の和太鼓グループが練習しているのは、東京の湯島（文京区）に伝えられている《助六太鼓》。江戸前の"いなせ"がいっぱいの、元気ではぎれのよい組み太鼓です。大太鼓、中太鼓、締め太鼓の3種類の太鼓を使って演奏します。

やぐらの上にのせた太鼓にむかって、しっかりとばちをにぎって足をふんばり、からだ全体を使っておもいっきりたたきます。練習場所のAスタジオが、部屋ごとゆれるような力強い太鼓の音がひびき、あせだくになって練習にはげんでいます。

三味線　わらべうたから長唄などの古典まで

歌舞伎や人形浄瑠璃（文楽）、箏曲、民謡、寄席の演芸など、日本の伝統音楽や芸能になくてはならない三味線は、日本の伝統的な楽器のひとつ。わずか3本の糸（弦）ですが、ばちの使い方と糸をおさえる指の動きを組み合わせて、いろいろな"表情をもった音"を作りだし、豊かな表現の演奏ができます。

三味線の講座は、初級と経験者（上級）の2つのコースに分けて行われています。初級コースは、わらべうたや童謡など子どもたちが知っているメロディーの練習から始め、長唄などの古典へ。糸をおさえる指も最初のうちは人さし指だけでできる曲を選び、3本の糸をおもいどおりに分けてひけるようにします。楽しく三味線という楽器に親しむ、というのが基本です。

練習を重ねて、三味線のおもしろさが分かってくると、三味線の表現する力が生かされている古典に興味をもつようになってきます。経験者のコースになると、長唄などの古典の曲に積極的に取り組みます。

平成13年度〔こどもの城〕講座・クラブ受講生募集

子どもたちがもっている可能性を引き出し、たくましく、すこやかに育ってほしいという願いをこめて〔こどもの城〕の講座・クラブは運営されています。体育、音楽、造形など、〔こどもの城〕のさまざまな部門で"遊びのプログラム"を実践しているスタッフが中心となって指導にあたっています。

親子（幼児）で参加するものから、幼児・小・中・高校生、そして子どもをとりまく大人のためのものまで、年齢におうじたコースがあります。人や"もの"との新しい出会いと発見――自分で考え、仲間といっしょに取り組むことのおもしろさ、楽しさがいっぱい。指導者向けの講習会やセミナーもあります。

くわしくは「講座・クラブ受付係」へお問い合わせください。パンフレットも用意してあります。

2月22日午前10時から受け付け

お問い合わせ先 ☎03-3797-5666

FUJITSU THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

楽しさ、さらに広がるワイド画面。
表示面積約1.6倍＊1追力のワイド液晶。さらに、超広視野角で見やすさ抜群。
ホームページを左右に並べて表示できるなど、インターネットにも最適。

NEW FMV-DESKPOWER K6/86WLT

閉じたままでも、ひと目でわかるi-Panel。
本体カバーを閉じたままでも、メールの着信を光と音とメッセージで知らせる「i-Panel」搭載。
インターネットの利用時間や、接続料金を表示して使いすぎを防止＊2します。

NEW FMV-BIBLO NE6/850HB

FMV
www.fmworld.net

パソコンのライフスタイルを快適にするWindows®Me搭載

上記機能は一部機種未搭載です。ご購入の際は最新カタログにて詳細をご確認ください。＊1：15型液晶との比較。16:9のワイド画面に対応したDVD映画の場合。＊2：あらかじめ設定が必要です。"FMVデスクパワー、ビブロは当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、材料選択など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」です。（一部機種を除く）（http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/About_fujitsu/environment/eco.html）Microsoft、Windowsは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。Windows®MeはMicrosoft®Windows®Millennium Editionの略称です。その他の名称については、一般に各開発メーカーの商標または登録商標です。画面はハメコミ合成です。商品写真はi-Panelを点灯させて撮影したものです。
FAX 本広告の製品カタログをFAXにてお送りしています。千葉：043-299-3642 大阪：06-6949-3270（資料番号/デスクパワー1141・ビブロ1151）

愛知県児童総合センター、えひめこどもの城、栃木県子ども総合科学館、こどもの城

大型児童館のボランティアが集い交流

〔こどもの城〕のボランティアと“絵本の読み語り”など

「ボランティア国際年」をきっかけに、子どもの遊びをサポートするボランティアが集まって交流・情報交換をしようと、1月20・21日に〔こどもの城〕でボランティア交流会が開かれました。集まったのは「愛知県児童総合センター」「えひめこどもの城」「栃木県子ども総合科学館」と〔こどもの城〕で活動しているボランティア。いずれも大型児童館として地域のセンター的役割を担っている施設です。

〔こどもの城〕のボランティアは、大型児童館で活動しているボランティアの集い「じょいんフェスティバル」を今年11月に開催しようと計画しています。その一環として各館にでかけて交流を呼びかけた結果、相互に交流・情報交換できる場を持とうということになって、交流会が開催されました。今後も、各地の大型の児童館などで活動しているボランティアへ呼びかけを行っていく予定。

〔こどもの城〕のボランティアが出迎えるなか、各館のボランティアが到着。さっそく、施設紹介をふくめた自己紹介と各館の活動概要を説明。基本的な情報の交換をしました。〔こどもの城〕館内でボランティアの活動を見学したのち、3つのグループに分かれて、それぞれのボランティア体験をふまえた情報交換。付き添ってきた各館の職員も施設の立場からボランティアの参加状況、活動支援方法などについて意見をかわしました。

2日目は、遊びのボランティアとして〔こどもの城〕のプログラム「絵本の読み語り」「日曜クラブ（遊びのプログラム）」に参加。午前中は、それぞれの担当者と打ち合わせや活動の準備しました。

愛知県児童総合センターのボランティアは、人形劇や絵本の読み語りをしているグループ。人形などを事前に送り、初めての館外公演に大はりきり。7人が参加して、ギャラリーの「ハロー・ディア・エネミー国際絵本展」会場で、〔こどもの城〕のグループと交互に読み語りや人形劇を公演。

栃木県子ども総合科学館とえひめこどもの城からは、それぞれ2人のボランティアが参加。〔こどもの城〕のボランティアに交じって「日曜クラブ」で活動しました。午前中は午後のプログラムの準備。折から降り積もった雪という幸運（？）もあり、雪の少ない愛媛、雪が多い栃木、そして〔こどもの城〕の各ボランティアが協力して雪かきをしました。午後の本番では、こまを回したことがないといいながらも、子どもと一緒に回しかたを教わって楽しみました。

▲愛知県児童総合センターのボランティアによる人形劇

▲4館のボランティアが車座になって意見交換

各館のボランティア活動概況（文責・編集部）

◇**愛知県児童総合センター**　現在約20人のボランティアが活動中。無理せず、いろいろな活動にかかわっています。各コーナーに入って活動するほかに、新聞紙のプールのなかでペットボトルに隠した暗号文を探す“みつけてみつけてもぐりんこ”などボランティアが遊びを考えて実施することもあります。第2・4土曜日には、人形劇や絵本の読み語りを行う「絵本の部屋」を行っています。ボランティアの事務局があり、半年ごとに役員が交代して運営にあたっています。

◇**栃木県子ども総合科学館**　約60人のボランティアがいます。活発に活動しているのは10人前後。館としてボランティアをどうするか、どう育てるかなどの検討を重ねているところです。ボランティアは、「遊び」「折り紙」「天文」の分野で主体的に活動。必要に応じて募集しています。遊びのプログラムは年度始めに1年間のテーマを考え、月1回のペースで実施しています。特定の年齢にこだわらず、集まった子どもたちと楽しく過ごせるように臨機応変に対応しています。

◇**えひめこどもの城**　小学生から社会人まで幅広くボランティアを受け入れ、平成12年度は136人登録。小・中学生は、遊びに来ていた子どもがボランティアになって活動しているという形です。ボランティアなしでは運営できないのが現状。子どもと直接接する場面だけでなく、受け付けや準備なども手伝ってもらっています。大道芸のパフォーマンスを見て、自分たちも挑戦したいと、土・日曜日に練習をしている中・高校生のグループもあります。

平成12年度第3回
こどもの城児童厚生員等実技指導講習会終わる

年齢・発達別に身近な道具を使った親子の運動プログラムを紹介

▲一人が親、一人が子どもになって風船を使った運動遊び

平成12年度の第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会「親子の健康を考える～乳幼児とその親に対する児童館活動」が1月17～19日の3日間、〔こどもの城〕研修室ほかで開かれました。全国から55人の児童厚生員等が参加。子育て支援プログラムの1つとして、乳幼児と親の運動プログラム、親子を支えるためのコミュニケーション（カウンセリングマインド）の実際を学びました。

こどもの城となかまたち

1日目は、羽崎泰男体育事業部長が「乳幼児の健康と運動遊び」の講義。体力作りや健康作りなど体を動かすことのなかにも、子どもの個性を見いだすことができること、親子でする体操は産後の体力回復や子育て中のリフレッシュになるなどお母さんにとっても必要であることなど、乳幼児の健康運動遊びの意味を説明しました。

2日目の実技「親子でスキンシップ～こどもの城『母と子のすくすくランド』の実践から」では、お座りできるぐらいの子と母親・幼児と親のペアを対象とした講座を指導している〔こどもの城〕体育部門の専門スタッフが講師。めざましい発達をとげる乳幼児期の運動プログラムを年齢・発達に応じて段階別に紹介。親子のスキンシップを大切にした、風船や輪（リング）など身近な道具を使った運動を二人一組で、一人が親もう一人が子どもになって体験しました。

風船からもれる空気を赤ちゃんの顔などに加減しながらあてて皮膚を刺激したり、ふくらませた風船を上下左右にゆっくり動かして赤ちゃんに目で追わせるとその動きが自然と運動になる乳幼児向けのプログラム。歩き回るようになると、ボールと違ってふわふわとゆったり動き、あたっても痛くない風船を使って、サッカーのリフティングやドッジボールのあてっこなどができるようになります。ひとつの風船で発達に応じたさまざまなバリエーションのプログラムができることを体験しました。

リングでは、赤ちゃんが握ったリングを持ち上げることで立ったり座ったりする運動、歩けるようになるとリングのなかに入って電車ごっこ、床に置いて飛び越したり、リングを転がして追いかけたり――年齢・発達別に具体的にプログラムを紹介。実際に親子（幼児）プログラムで使っているリングなので、大人同士のペアではちょっと動きづらいものもありましたが、親子の役を交代してがんばっていました。

「ちいさい子なので眠かったりおなかが空いたりしてぐずることもありますが、そういうときは無理にやらせないで覚えて帰ってもらって、家で試みてみてください――というようにしています」など、実施するときの具体的な留意点をまじえながら指導が行われました。

親子を支えるための カウンセリングマインド

講義・演習「人とのかかわり～親子を支えるために」は、児童厚生員の役割の一つとして、子どもの発達を把握していることが大切であることから、0歳から大人までの発達と成長について整理して考える講義から始まりました。講師は、こどもの城小児保健クリニックで心理相談を担当している植松紀子臨床心理士。

演習は、人間関係を作り上げるために欠かせない、自分の心をオープンにすることからはじまり、数人のグループに分かれて相手の話をきく・話をするなどのコミュニケーションの実際が行われました。「小さい子どものいるお母さんや保護者と話すとき、じっくりと落ちついていることは少なく、立ち話ということも多いと思います。そのようななかで、話をきく・話をするなどの実践をしてみて保護者が何を訴えたいのかを察することができれば、カウンセリング的な対応になっているといえるでしょう」と植松さん。“聞き上手”をめざし、相手と自分との位置関係、視線の工夫など、日常生活では意識することの少ないものにまで注意をはらいながらコミュニケーションの実技に取り組みました。

3日目には、梅田幸恵看護婦が子どものための遊びの施設である〔こどもの城〕のデータをもとにしながら、実技「危険から子どもを守る～日常的なけがの対応」。けがをした子どもへの対応だけでなく、驚きあわてている親の気持ちをくんだ上での対応など、子どもの“遊び場”という児童館の性格をふまえて具体的に講議をしました。

「ひなまつり」プログラムがいっぱい

3月3日は「桃の節句」。ひな人形を飾る家も多い思います。〔こどもの城〕では、プレイホールと造形スタジオで、日本の伝統的な行事にちなんだプログラムを行います。

2月27日～3月4日 プレイホールは「ひなまつりウイーク」

プレイホールでは、2月27日～3月4日が「ひなまつりウイーク」。毎週定期的に行っている「おはなし紙しばいのつどい」（火曜日）、「みんなのにこにこ広場」（水曜日）、「おりがみあそび広場」（木曜日）でも“ひなまつり”を題材にした紙芝居や折り紙を取り上げます。

3日と4日には、昔から伝わるお手玉やカルタなど、今では珍しくなった“家のなかでする遊び”をみんなで楽しみます。

動く「ひなクル」「パタビーナ」を制作 3月3日まで造形スタジオ

造形スタジオでは、竹を使って動かして遊ぶことができる「回転びなひなクル」（親子、写真左）と「ダンスびな パタビーナ」（小2以上、写真右）作りを3月3日まで行っています。

「ひなクル」は、弓なりにしならせた竹の反動を利用したもので、押さえて放すとクルリっと回転。「パタビーナ」は、糸を引くとシーソーのように上がったり下がったり。下がったときに台紙をたたく音は、ちょうど日本庭園にある“ししおどし”のような感じです。

2月24日にファミリープレイタイム「紙すきハガキを作ろう」

家族で楽しむ遊びのワークショップ「ファミリープレイタイム」。2月は24日に「クラフト　紙すきハガキを作ろう」を行います。5歳児（年長）以上の子どもと親のペア15組。先着順に受け付けしています。

3月は11日に「作ってあそぼうファミリー紙相撲春場所」を予定しています。詳細は、プレイ事業部【☎03−3797−5661】へお問い合わせください。

「季節の離乳食～冬コース」が一月二十五日に開かれ、定員を上回る十五組の親子が参加。使うときのことを考えた冷凍保存の方法、冷凍したものをそのまますりおろして使えばムダなく便利――など、実演をまじえながら紹介しました。

春休み短期コース受講生募集

「小学生パソコン教室スペシャル～マルチメディア探検隊」

パソコンを使えば、映像や文字、音などを思い通りに組み合わせて処理する（編集・加工したりする）ことができます。マルチメディア機能などと呼ばれ、パソコンの得意とするところです。

春休み特別期間の「小学生パソコン教室スペシャル～マルチメディア探検隊」（5日間連続）では、デジタルカメラで撮影した写真、みんなで取材した文章をパソコンで処理して写真中心のレポートにまとめます。また、インターネットで情報探検を楽しんだりします。

【日時・場所】 3月26～30日（5日間連続）10時30分～12時45分／10階パソコンルーム
【対象・定員】 小学校4～6年生（3月1日現在）／20人
【受講料】 6,000円
【申し込み方法】 受講料をそえて「講座・クラブ受付」へ。2月20日から先着順に受け付け。
【お問い合わせ】 プレイ事業部 ☎03−3797−5661

「春休みこども集中水泳」

リニューアルしたプールでは、「春休みこども集中水泳」が開かれます。

【日時・場所】 4月1～5日（5日間連続）Aコース＝9時30分～10時30分、Bコース＝10時30分～11時30分／地下2階プール
【対象・定員】 Aコース＝小・中学生（新1年生含む）50人／Bコース＝幼児（4・5歳児。平成7年4月2日～9年4月1日生まれ）45人
【受講料】 各コース7,000円
【申し込み方法】 受講料をそえて「講座・クラブ受付」へ。2月20日から先着順に受け付け。
【お問い合わせ】 体育事業部 ☎03−3797−5660

こどもの城ファミリーコンサート　五線譜のなかの動物たち

モーツァルトの音楽遊園地

パパゲーノ！

芝居仕立ての楽しい音楽会

3月23日～4月3日　青山円形劇場

春休みの青山円形劇場は、恒例の人気シリーズ「五線譜のなかの動物たち」。歌にダンスにクラウン芸、動物あてクイズまでもりこんだ“芝居仕立ての音楽会”で、動物や鳥を描いた楽しいクラシック音楽がいっぱいです。

今回は、シリーズ一番の人気作「パパゲーノ！」。鳥さしパパゲーノや恋人パパゲーナ、夜の女王など、モーツァルトのオペラ「魔笛」の登場人物たちがくりひろげる奇想天外な歌芝居です。曲は、「フィガロの結婚」や「魔笛」などモーツァルトのオペラの有名なアリアや二重唱に、シューマンやサン＝サーンス、ムソルグスキー、サティなどが作った動物の曲で構成してあります。

出演はバリトンの山本隆則、役者で構成も手がける光瀬名瑠子、クラウンの白井博之、ピアノの伊藤エイミーまどかに、今回はマイムの沢のえみが加わりより一層パワーアップ。お楽しみに。

【日時】3月23日～4月3日（3月23日は7時、ほかは11時と2時30分。28日は休演）
【料金】2,800円（全席自由・定員制、3歳以上有料）
チケットは、青山劇場予約センター【☎03−3797−1400】へ。

一九九六年の「パパゲーノ！」公演から

3月17・18・20日
青山円形劇場

ぼくらのサウンド2001

音楽講座・クラブの子どもたちの合同コンサート

〔こどもの城〕の音楽講座・クラブの合同コンサート「ぼくらのサウンド2001」が、3月17・18・20日の3日間にわたって青山円形劇場で行われます。入場は無料ですが、入館券と当日配布する入館整理券が必要です。公演日と出演講座名は以下のとおり。時間などの詳細は、音楽事業部【☎03−3797−5663】へお問い合わせください。

●**17日**　レッツ・プレイ・サンバ／エレクトリック・アンサンブル
●**18日**　①リズム・ムービング／リズムムービング&パーカッション／パーカッション・アンサンブル②和太鼓グループ・ガムラン講座
●**20日**　①三味線／こどもの城児童合唱団ほか②おかあさんもいっしょリトミック／合唱講座／こどもの城児童合唱団／混声合唱団

3月のBスタジオの催し

子ども向けの映画を上映する「こどもの城映画劇場」、“映像遊び”のワークショップ「不思議な映像実験室」、「手作り楽器のワークショップ」などを日曜日・祝日に4階Bスタジオで行っています。

■3月11日　こどもの城映画劇場
『カナダのアニメーション～イシュ・パテル特集』
11時30分、1時30分、2時30分、3時30分
インド出身で、カナダで活動しているイシュ・パテルの作品を特集します。
『**パラダイス**』＝色彩豊かな美しい絵とイルミネーションのように輝く“光の点”が描き出す作品。野に住む鳥が宮殿のなかに見たのものはパラダイス（理想郷）？
『**デバインフェイト**』＝よくばりな人間は感謝の気持ちを忘れ、すべてのものを自分のものにしてしまった。そして、神様がくださった最後の贈り物とは？

インフォメーション
INFORMATION

青山劇場

●**三井コラボレーション　ドラマコンサート～ミッシング・ピース～**
▽2月27・28日▽S席＝4,500円、A席＝3,500円▽出演＝市川右近、武田真治ほか
●**元スパイダース3人新ユニット「Sans Filtre」～ソン・フィルトル～**
▽3月3日▽8,400円
●**山本達彦　BIRTHDAY CONCERT**
▽3月4日▽6,000円
●**INOUE KABUKI「野獣郎見参」**
▽3月12～31日▽S席＝8,400円、A席＝5,800円▽出演＝堤真一、高橋由美子ほか
●**NANTA～COOKIN' BEATS～JAPAN TOUR 2001**
▽4月10～22日▽S席＝7,500円、A席＝6,800円、ジーンズシート＝5,500円

青山円形劇場

●**「漫才病棟」**
▽2月22～26日▽2,000円▽出演＝日本映画学校俳優科13期生
●**タチ・ワールドプロデュース公演「マンハッタン・コレクション」**
▽3月1～4日▽指定＝6,000円、自由＝5,000円
●**アマンダ・ミラーとバレエ・フライブルグプリティアグリィ「沈黙の対話」**
▽3月6・7日▽4,000円
●**チハラトーク**
▽3月11日▽2,000円（当日2,200円）
●**「ウナ・ノーチェ」**
▽3月13～15日▽7,000円▽出演＝大浦みずき、吉野圭吾、今井清隆ほか
●**こどもの城ファミリーコンサート「五線譜のなかの動物たち「パパゲーノ！～モーツァルトの音楽遊園地～」**
▽3月23日～4月3日▽2,800円▽出演＝山本隆則、光瀬名瑠子ほか
●**遊◎機械／全自動シアター「食卓の木の下で」**
▽4月7～26日▽5,000円▽作＝高泉淳子、演出＝白井晃

■お問い合わせは、青山劇場予約センター【☎03−3797−1400】へ。